



# 議会 だより

千早  
赤阪  
ちはやあかさか

特集

当初予算特別委員会・総括質疑

## 一般質問

徳丸 初美

国民健康保険診療所の処方箋  
地域公共交通

井上 浩一

自主防災組織の現状と課題  
森林環境譲与税の活用  
千早赤阪村公共施設不用品のリサイクル

田村 陽

抜本的な空き家対策を  
高齢者対象「スマホ教室」

藤浦 稔

府道改良工事と国道309号の進捗状況  
職員のスキル向上

服部 幸令

本村の子育て支援政策は  
ふるさと納税の取り組みは

vol. **144**  
May 2023  
3月定例会

## 臨時議会 議決結果（令和5年2月2日）

### ○全会一致で可決された案件

議 案	説 明
職員の定年延長に伴う関係条例の整備に関する条例制定	地方公務員法の一部改正にともない、現行の定年年齢60歳から65歳へと段階的に引き上げる
令和4年度一般会計補正予算（第13号）	応援商品券事業（53万円） 出産・子育て応援事業（2350万円）ほか

## 3月定例会 議決結果

### ○可決・同意された案件（賛成6人、反対0人・欠席者 平田議員）

議 案	説 明
監査委員の選任	清井浩氏が引き続き選任
退職手当基金条例制定	退職手当の資金に充てるための基金を設置
議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正	公職選挙法の改正にともない、公費負担の限度額を引き上げる
個人情報の保護に関する法律施行条例の改正	審査会の諮問規定の追加および字句の改正
ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例等の改正	生活保護法による保護が停止中の者も対象に加えられた
国民健康保険条例の改正	出産育児一時金を40万8千円から48万8千円に引き上げる
地域公共交通協議会条例の改正	上位法の改正に伴う字句の改正
令和4年度一般会計補正予算（第14号）	職員の退職手当の増額や事業費の不用による減額ほか
令和4年度特別会計補正予算	事業費の不用による減額ほか
令和5年度一般会計・特別会計予算	詳細は特集ページを参照
財産の処分	大阪府への金剛山ロープウェイ特設水道施設の売却（3507万円）
議会の個人情報の保護に関する条例制定	個人情報保護法の改正にともなう改正
固定資産評価審査委員会委員の選任	渡部要介氏が選任
令和4年度一般会計補正予算（第15号）	消防分署の館内放送施設改修費用（154万円）
工事請負契約の締結	役場敷地内に設置する防災備蓄倉庫の新築工事（8415万円）
特別職の職員の給与に関する条例の改正	報酬等審議会の答申を受け、教育長の給料を2万円増額（54万円→56万円／月）
令和5年度一般会計補正予算（第1号）	新型コロナワクチン接種事業ほか（5217万円）

※特に記載がない場合は、千の位で四捨五入したものを記載しています。

# 議長コラム



村議会議長 千福 清英

いは後日、会議録をご覧ください。

議会会期中、世間ではWBCでの侍ジャパンの活躍に沸いていた。野球ファンだけでなく、大勢の人々が試合を観戦しその活躍に感動していた。

侍ジャパンの連戦連勝は、投手・野手30人全員が自身の持ち場や役割をきっちりとわきまえて、また、監督・コーチや関係者との連携があつてのことであつた。

大切なことは、勝利に向けて、次の打者につなぐ、次の投手につないでいくという一体感である。侍ジャパン選手は所属チームの主力選手ばかりである。その選手たちがつなぎに徹して勝利を重ね、結果世界一となった。

この勝利こそが、むらづくりの参考になるのではないかと私は思う。村政運営においても公民連携が重要であり、そして行政と住民が一体となつてむらづくりを行うことが大事である。

村長は、この勝利の方式を参考にむらづくりを進めてほしい。村長の手腕に期待する。

3月定例会は、南本村長のむらづくりへの思いの詰まつた令和5年度村政運営方針から始まつた。

そして、私も村政運営方針に対して総括質疑を行い、まずは冒頭で、新型コロナウイルス感染症予防対策でのワクチン接種率府内ナンバー1であることは、村民の生命財産を守るため奔走し続けた村長の手腕によるものであり、高く評価すると共に、敬意を表するものである旨を述べ、住民を代表してお礼の言葉を述べた。そして令和5年度の施策について、①楠公誕生地周辺の整備②包括的な子育て支援体制の構築③備蓄倉庫の建設④持続可能な地域公共交通の必要性⑤会派での予算要望の反映などについて質疑を行った。

私の声は住民の声である。それを踏まえて村長は真摯に向き合い答弁をされた。(内容につ

## 全員協議会

〔令和5年2月1日開催〕

(案件)

1. 職員の定年延長に伴う関係条例の整備に関する条例制定について説明

2. 令和4年度千早赤阪村一般会計補正予算(第13号)について説明

〔令和5年3月15日開催〕

(案件)

・工事又は製造の請負契約報告書  
工事名…村道小吹台北5号線外舗装工事

## 議員表彰

全国町村議会議長会 特別表彰

議会活動を通じ地方自治の進展のために大きな役割をはたしていることを高く評価し、その功労に報いるため、特別表彰が授与されました。

○千福清英 議長



## 今月の表紙



道の駅より南へ3分程歩くと、奉建塔があります。この塔は昭和15年に楠公600年祭記念として建てられました。塔の周りには、多くの桜が植えられています。クビアカツヤカミキリの発生により、大半が伐採される予定です。最後の満開をご覧ください。

# 表紙写真大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真(複数人でもかまいません)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ(村議会)にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

## 当 初 予 算 特 別 委 員 会

### 令和5年度 会計別当初予算額

会 計 区 分	令和5年度	令和4年度	対前年度比較
一般会計	36億8295万円	37億6869万円	△8574万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	8億3800万円	8億5358万円	△1558万円
国民健康保険特別会計（診療施設勘定）	2726万円	2690万円	36万円
介護保険特別会計	6億3036万円	5億8707万円	4329万円
後期高齢者医療特別会計	1億3825万円	1億4534万円	△709万円
下水道事業特別会計	2億9193万円	2億5875万円	3318万円
総 額	56億875万円	56億4033万円	△3158万円

当初予算特別委員会の質疑から、主なものを抜粋しました。

#### 一般会計

##### （地域活性化交流拠点整備事業）

**問** 地域活性化交流拠点整備事業の内容について伺う。

**答** 1回目はアイデアブレスト、2回目が方向性の整理、3回目は方向性のまとめ、コンセプト作りを行い、現在、整理とまとめを行っている。

##### （地域活性化起業人）

**問** 地域活性化起業人負担金2880万円は企業と協定を締結し、社員の派遣を受けているが、村の費用負担はあるのか。

**答** 国の制度を利用しているため、負担は無い。

**問** 2880万円は前年より増となっているが要因は何か。

**答** DXを進めるにあたり村役場のノウハウでは難しいと考え制度を導入した。

##### （地域活動等総合補助金）

**問** 地域活動等総合補助金は、地域横断的に使えないため、本来支援すべきことが出来ていないと思うが、どのように考えているのか。

**答** タウンミーティングの中で各地区問題が異なり、地区ごとに村と協働で行いたいという意見を受け検討し、制度の見直しも含め5年度から検討したい。

##### （ふるさと応援寄付金）

**問** ふるさと応援寄付金について、村では令和3年度は約600万円だった。全国では、平均で

4億円を超えている。多くの寄付を集めるところの地

場産品が高級品ばかりとい

うことも無い。

**答** 担当課の努力の問題だと感じるが、来年度に向けての考えは。

**問** 地域活性化起業人を活用し、返礼品の開発や情報発信のノウハウを共有化し、ホームページで魅力を発信、寄付金の増額を図りたい。

**答** 地域活性化起業人を活用し、返礼品の開発や情報発信のノウハウを共有化し、ホームページで魅力を発信、寄付金の増額を図りたい。

##### （マイナンバーカード）

**問** 令和5年度にマイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストアでの住民票等の発行が出来るよう取り組むのか。

**答** 令和5年度は予算化できなかったが、デジタル化、IT化について検討し進めていきたい。

##### （子育て支援拠点「ひまわり」）

**問** ひまわりの開所は現状週3回だが、お母さん方の要望では開所日を増やしてほしいとの事だ。試験的に繁忙期などに増やしてはどうか。5年度に実現は出来ないのか。

**答** 担当課と相談をして、取り組んでいきたい。

##### （生活道路整備事業補助金）

**問** 生活道路整備事業補助金650万円の増額となっているが内容等変更されたのか。



当初予算特別委員会

【答】 わずかの増額だが使える範囲を拡大し、樹木伐採等にも対応できる。

（農産物直売所活性化事業補助金）

【問】 直売所は撤去されるのに農産物直売所活性化事業補助金が出ているのは何故か。

【答】 直売所に代わるものを模索され、形になるようなら支援をしていく。

（クビアカツヤカミキリ被害対策事業委託料）

【問】 885万円計上されているが、奉建塔の桜をどの程度伐採するのか。

【答】 約40本、7割から8割の本数となる。

（地域公共交通）

【問】 地域公共交通利用料助成金720万円は季節ごと等の基準で運用できないのか。

【答】 利用率は上がっている。運用方法については提案を含め協議会に諮っていきたい。

（げんきこども園改修工事補助金）

【問】 こども園については新設され年数も浅いがどういった改修なのか。

【答】 小さな子供の転落事故の多発を受けて、こごせ幼稚園の園舎部分に転落防止の手すりを設けた。

（くすのきホール）

【問】 予算上では収入が55万円、支出が1530万円で大幅な赤字となっている。赤字解消に向けての方策は。

【答】 公共施設の在り方をトータルで考え議論していきたい。

（B&G海洋センター）

【問】 収支を見ると1400万円くらいの赤字となっ

ている。

【答】 最近のエネルギー事情等も考慮して総合的に施設の在り方を含め、使用料、利用の在り方等見直す時期かと考える。

（こども園送迎バス）

【問】 子供を送迎するバスでの事件を受け国が対策を支援することを決めているが、こども園の対応についてはどうか。

【答】 一定の概算要求の情報を得たので、送迎バスの安全装置の補助という形で予算計上している。装置についてはブザーが鳴るタイプで対応している。

（中学校の通学バス遠距離通学補助金）

【問】 48万4千円が計上されている。金剛バスのダイヤ変更などで来年度変更があると聞くが内容は。

【答】 登校時のみ赤阪小学校の通学バスに乗車を認めるよう予定している。帰りについては時間帯のずれもあり、金剛バスを利用してもらい回数券の購入補助を予定している。

（公共施設等総合管理計画）

【問】 公共施設の老朽化が激しく管理計画の見直しが必要ではないのか、現在の状況と今後について伺う。

【答】 平成29年に策定し、令和4年3月に見直している。総論的な大きな計画はあるが、個別施設計画がすべてについては出来ていないので引き続き計画策定していく。

特別会計

（国民健康保険特別会計）

【問】 保険料については引き上げがされるが、予算額が変化しないのは何故か。

【答】 被保険者が毎年減少し、見込みについても一人当たりの単価は上がるが全体の保険料は変化していない。

（下水道事業特別会計）

【問】 下水道実施設計委託料3052万4千円の概要について伺う。

【答】 令和4年度まで行っていた小吹台地区の下水道施設の実施設計を行うもの。

【問】 下水道汚水管渠布設工事4845万3千円の布設場所はどこか。

【答】 令和4年度に引き続き吉年地区の工事を継続して行う予定。

【問】 下水道管移設検計業務委託料については中学校下のエリアかと思うが、道路補修を最終的にされる為の移設になるのか。

【答】 中学校の汚水を流す下水道管があり、法面等の施工範囲に下水道管があるののでそれを移設するものだ。



当初予算特別委員会

# 総

# 括

# 質

# 疑

「総括質疑」では令和5年度予算案を受けて、村長の村政運営方針について会派ごとに質問した。

**Q** 楠公誕生地周辺整備事業の進捗は

**A** コンセプト案の取りまとめを行っているところ

**Q** 村長給与の削減は今年も行わないのか

**A** 報酬等審議会の結果を尊重したい

**Q** 令和4年度の事業について、村長の自己評価は

**A** ワクチン接種事業は大阪でも非常に高い接種率で評価できる内容だった

**Q** タウンミーティングでの村長の発言に対し予算措置は

**A** 村長の政策に対する意見を聞くために開催している  
特に予算措置はしていない



**Q** 村内に小さな子供を連れていける公園がないが、村長の考えは

**A** 今のところは考えていない  
楠公誕生地周辺整備事業を進めていく中で検討していく

**Q** 公共交通の必要性をどう考える

**A** 公共交通の維持に努める

**Q** 地域の住民が主体となって活動できるよう村はサポートを

**A** どのようなサポートができるか、社会福祉協議会と連携しながら対応していく

**Q** 物価高対策は

**A** 国から交付金があれば検討する

## ◆総括

令和5年度予算はほぼ例年通りの編成となりました。予算編成について各会派それぞれの問題意識から質問させていただきましたが、「検討する」という回答が多く、なかなか実のある議論とはなりません。より活発な議論となるよう、議員としてもいっそう努めてまいります。



# 問 国民健康保険診療所の処方箋

## 答 基本的には院内処方に対応している

**問** 国民健康保険診療所の処方箋について

① 村の診療所を利用した人は、診療所内で薬を受け取ることができているか。

② 村診療所で薬が出せな



千早赤阪村国民健康保険診療所

か。院内処方では対応している。取り扱っていない薬は、院外処方に対応をし、希望される方には富田林薬剤師会の薬局・薬店一覽表を渡している。全ての人々が希望する薬を診療所で受け取れるようにすることは、診療所の経営

**答** 薬の処方、基本的には院内処方では対応している。取り扱っていない薬は、院外処方に対応をし、希望される方には富田林薬剤師会の薬局・薬店一覽表を渡している。全ての人々が希望する薬を診療所で受け取れるようにすることは、診療所の経営

に大きな影響を及ぼすことから考えていない。

**問** 院外処方箋で4日の期限が過ぎて薬を貰えなかったケースが出ています。薬を貰うためには再度受診する必要があります。その受診料や薬代は全額自己負担である。保険扱いにできないか。

**答** 現時点では考えていない。

**要望** 診療所内で告知をしたり、直接その旨を本人に伝える等の丁寧な対応と、村診療所で薬を受け取ることができるよう要望する。

### 徳丸初美 議員

か。院内処方では対応している。取り扱っていない薬は、院外処方に対応をし、希望される方には富田林薬剤師会の薬局・薬店一覽表を渡している。全ての人々が希望する薬を診療所で受け取れるようにすることは、診療所の経営

### 地域公共交通

**問** 地域公共交通について。住民は日々不安を抱えて暮らしている。1日も早く地域公共交通の運行を願っている。実行する予定があるか、何年後に予定しているかを

何う。

**答** 以前のくすのき号のような地域公共交通を運行する予定はない。

**要望** 住民は待ったなし。村長公約に買い物、通勤通学や各福祉、文化施設へのコミュニティバスなどきめ細かな交通網の整備を進めると明記している。きめ細かなサービスをする。望する。

ピスをすることで住民との信頼関係が生まれ、役場に対する見方も変わる。その積み重ねである。住民に見える取り組みをしっかりと進めていくことだと思ふ。それができないのであれば当面今のタクシー・バス利用券制度を引き上げることを要望する。

千早赤阪村国民健康保険診療所  
(指定管理者:公益社団法人地域医療振興協会)

◆ 診療科目 ◆  
内科・外科・小児科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~12:00 (最終受付 11:30)	○	○	○	○	○
13:00~15:00		訪問診療 予防接種	訪問診療 予防接種		
15:00~16:30 (最終受付 16:15)		○	○		
16:30~18:30 (最終受付 18:15)	○			○	

☎ 72-0038

村立保健センター内診療所・診療科目



## 自主防災組織の現状と課題



## 各地区の訓練を支援



井上浩一 議員



自主防災組織の訓練風景

**問** 強制することなく、柔軟に対応していく。総合防災訓練や啓発活動を行い意識の向上を図る。個別対応も先進事例を参考に検討する。

**答** 柔軟な対応で一人として取り残さない社会の実現を。

**問** 間伐材搬出利用促進については村の森林組合でのセリ価格が安く採算が取れず苦労している。制度見直し等の検討は。

**答** 1㎡あたり7000円の補助



森林組合 原木セリ市

**問** 廃棄する物、リサイクル可能な物、売り払い可能な物など区分し費用対効果を踏まえ適切に対応する。

**答** 不用品のリサイクルは有効だと考える。試行的に実施し、効果を踏まえ制度化して欲しい。

**問** 自主防災組織が年々充実してきたが、活動状況、未結成の地区の課題、今後の課題や目標を伺う。

**答** 現在12地区で結成され、防災講話や避難訓練等取り組んでいる。未結成の地区は1地区で結成

**問** 未結成地区については柔軟な対応を願う。防災意識の向上、地域の実情を共有する事が重要、工夫をして楽しく学べる機会が必要だ。避難行動要支援者については個別対応が必要だが考えを伺う。

**答** 強制することなく、柔軟に対応していく。総合防災訓練や啓発活動を行い意識の向上を図る。個別対応も先進事例を参考に検討する。

**問** 間伐材搬出、条件不利森林間伐、林業施設整備等の事業があり寄与してきた。課題は高齢化や放置森林の増加。次年度より森林経営管理制度を導入、税の配分についても要望している。

**答** 間伐材搬出、条件不利森林間伐、林業施設整備等の事業があり寄与してきた。課題は高齢化や放置森林の増加。次年度より森林経営管理制度を導入、税の配分についても要望している。

**問** 森林や木材に対する関心が高まっている。最重要課題の一つとして努力を願う。

**答** 手入れ不足の森林で経営管理が困難な時、市町村が所有者から委託を受け、再委託または直接実施する仕組み。財源は譲与税の範囲内で行う。

**問** 特に今、庁舎建設に伴い不用品が発生しているのではないかと、それらの有効活用はどの様に考える。村内の各施設の不用品の取り扱いについて伺う。

**答** 廃棄する物、リサイクル可能な物、売り払い可能な物など区分し費用対効果を踏まえ適切に対応する。

**問** 自主防災組織が年々充実してきたが、活動状況、未結成の地区の課題、今後の課題や目標を伺う。

**答** 現在12地区で結成され、防災講話や避難訓練等取り組んでいる。未結成の地区は1地区で結成

**問** この税を活用した事業の成果と実績、課題についての取り組みを伺う。また、税の配分について府や国に要望されたのか。林業従事者の育成も重要、林地台帳制度についても進捗等を伺う。

**答** 間伐材搬出、条件不利森林間伐、林業施設整備等の事業があり寄与してきた。課題は高齢化や放置森林の増加。次年度より森林経営管理制度を導入、税の配分についても要望している。

**問** 森林経営管理制度の概要と財源は譲与税だが配分内で対応できるのか。

**答** 手入れ不足の森林で経営管理が困難な時、市町村が所有者から委託を受け、再委託または直接実施する仕組み。財源は譲与税の範囲内で行う。

**問** 自治体での不用品の活用が話題になつている。オークションや展示即売等、環境負荷低減等の意義もあり提案する。

**答** 不用品のリサイクルについては承知している。費用対効果を踏まえ検討する。

### 森林環境譲与税の活用

を次年度より1万円に増額する。搬出は村の木材総合センターに限定。

**問** 森林経営管理制度の概要と財源は譲与税だが配分内で対応できるのか。

**答** 手入れ不足の森林で経営管理が困難な時、市町村が所有者から委託を受け、再委託または直接実施する仕組み。財源は譲与税の範囲内で行う。

### 千早赤阪村 公共施設不用品のリサイクル

**問** 自治体での不用品の活用が話題になつている。オークションや展示即売等、環境負荷低減等の意義もあり提案する。

**答** 不用品のリサイクルについては承知している。費用対効果を踏まえ検討する。





# 田村 陽議員

## 問

### 抜本的な空き家対策を

## 答

### 助言・指導による改善を求めていく

地区別空き家数・空き家率

調査地区	建物数	空き家数	空き家率
千早	225	33	14.7%
吉年	94	8	8.5%
桐山	99	8	8.1%
中津原	217	16	7.4%
二河原辺	87	5	5.7%
小吹	161	6	3.7%
水分	390	14	3.6%
東阪	252	9	3.6%
川野辺	93	3	3.2%
小吹台	979	31	3.2%
森屋	552	11	2.0%
合計	3,149	144	4.6%

(平成30年度空き家等追跡調査より)

**問** 空家等対策特別措置法では、放置すれば危険となるおそれのある空き家等を「特定空き家等」としている。本村でも、半壊している家屋や敷地内

で雑草が伸び放題となっている家屋など、特定空き家に指定されるべき空き家が散見される。特定空き等に指定されれば、固定資産税等の軽減措置がなくなり、所有者に改善を促す契機となること

が期待されるが、なぜ特定空き家等の指定を行わないのか。

**答** 財産権の制約を伴う、強い公権力の行使が含まれるため、慎重な対応が重要。

**問** 「助言・指導」でどこまで改善されるのか疑問。今後どう対応していくのか。

**答** 空き家対策をさらに充実・強化していくことが重要。

応が必要。まずは、粘り強く空き家所有者への助言・指導による改善を求め、所有者による適切な管理や、除却を働きかけていく。

**要望** 問題の先延ばしではなく、問題の解決に向けた取り組みを。

### 高齢者対象「スマホ教室」

**問** 若者のようにスマホを使いこなすことを目的とするのではなく、スマホの操作に困っておられる高齢者の相談に乗るような施策を進めるべきではないか。

**答** 「よろず相談所」を設置するなど、より安全により便利に利用できる環境づくりを進めていきたい。

**問** 高齢者のスマホ使用に際し、フォローができれば、環境づくりが必要ではないか。

**答** スマートフォンの基本的な使い方を中心に、年間を通じた講座の開催だけでなく、環境づくりも併せて検討を進めていく。

スマホに始まり。スマホに終わる。

**スマホ教室 (入門編)**

日時 2月22日(金)・2月1日(金)・15日(水) 午後1時~4時20分 (各日とも同席)

場所 千早赤阪村第一公民館

内容 「電話の入れ方、ボタン操作法」「電話のかけ方、カメラの使い方」「アプリのインストール方法」 ※概ね30歳以上のスマホの操作に不慣れな人を対象

申込 各開催日の3日前までに、電話予約 (各日定員15名・先着順)

千早赤阪村役場 村政戦略部 戦略推進課 電話:0721-72-0084

スマホ教室ポスター



## 府道改良工事と国道309号の進捗状況



### 工事手法について府と協議する 府と期成会とも連携し活動する



藤浦 稔 議員



府道富田林五條線

**問** 府道富田林五條線の改良工事について以前「文化庁と一定合意を得た。中学校敷地内の通学道復旧と府道改良を検討する」という答弁であったが、その後の進捗は。また国道309号の三期区間は、今後「期成会」

**答** 府道富田林五條線の改良工事については、文化庁と一定合意を得た。中学校敷地内の通学道復旧と府道改良を検討する」という答弁であったが、その後の進捗は。また国道309号の三期区間は、今後「期成会」

**問** 府道富田林五條線改良工事のスケジュールと中学校通学道土砂崩れの復旧工事も府がするの

**答** 府道富田林五條線改良工事のスケジュールと中学校通学道土砂崩れの復旧工事も府がするの

**問** 府道富田林五條線改良工事のスケジュールと中学校通学道土砂崩れの復旧工事も府がするの

と連携し効果的な要望活動を行うとのことであるが、どのように活動されるのか。

**答** 府道富田林五條線は、大阪府で詳細設計の準備が進められ、中学校付近の土質調査に着手される。

**問** 府道富田林五條線は、大阪府で詳細設計の準備が進められ、中学校付近の土質調査に着手される。

**答** 府道富田林五條線は、大阪府で詳細設計の準備が進められ、中学校付近の土質調査に着手される。

**問** 村役場では、最近、書類のミスなど散見される。職員に対し、どのような教育研修を行っているのか。また研修の結果、

**答** 村役場では、最近、書類のミスなど散見される。職員に対し、どのような教育研修を行っているのか。また研修の結果、

**問** 村役場では、最近、書類のミスなど散見される。職員に対し、どのような教育研修を行っているのか。また研修の結果、

**職員のスکیل向上**

**問** 職員がスキルを向上させることは、「安心・安全な村づくり」につながる。職員がスキルを向上させることは、「安心・安全な村づくり」につながる。

**答** 職員がスキルを向上させることは、「安心・安全な村づくり」につながる。職員がスキルを向上させることは、「安心・安全な村づくり」につながる。



防災研修

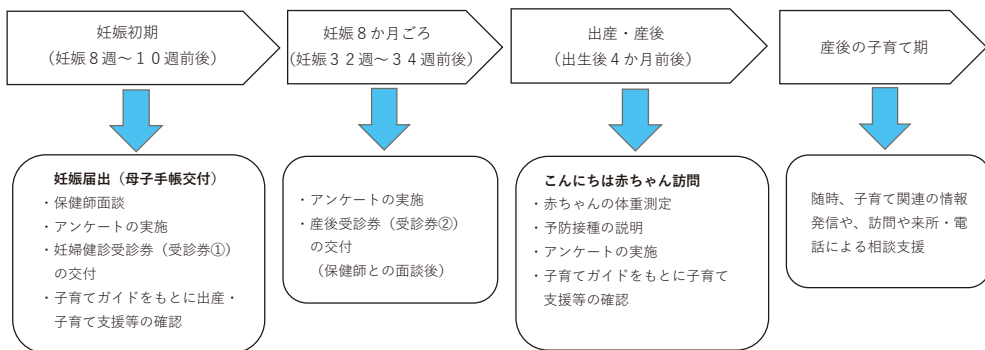


# 問

## 本村の子育て支援政策は

# 答

## 伴走型相談支援で切れ目のない支援を実施する



### 服部幸令 議員

#### 伴走型相談支援

母親学級・両親学級の実施や電話相談、妊婦訪問も行っている。また、妊娠8カ月時には、産後受診券の交付、産後ケア等の案内を行っている。

さらに、出生時には、予防接種や乳幼児健診、子育てギフト申請の案内や、新生児訪問、子育て支援ヘルパー派遣、養育支援訪問を行っている。

また、妊娠8カ月時には、産後受診券の交付、産後ケア等の案内を行っている。

【問】 議員協議会で健康課から伴走型相談支援で「妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施する」との説明があったので、具体的な支援について伺う。

【答】 伴走型相談支援としては、妊娠届出時に、母子手帳及び妊婦健診受診券の交付、出産支援ギフトの申請案内、妊娠期の過ごし方を記載した子育てガイドをお渡ししている。ほか、

【問】 2022年12月28日に、地域活性化起業人制度を活用し(株)ぐるなびと協定を結んだ。地域活性化起業人(株)ぐるなびの新たなふるさと納税の取組みは

【答】 返礼品に関する新たな業者との協議が進んでいる。まとまった段階で報告をする。

【問】 議員協議会で健康課から伴走型相談支援で「妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施する」との説明があったので、具体的な支援について伺う。

【答】 伴走型相談支援の具体策が良く分かった。ただ、3月9日の予算特別委員会では他党派の議員から、子育て世帯への紙おむつ支給についての質問があった。子育て世帯からは、紙おむつ支給を望む声もあったので、再検討することを要望する。

【問】 地域活性化起業人と契約は半年で6月までと聞いている。残り3カ月しかないが、一定の成果が出せるか。

【答】 返礼品に関する新たな業者との協議が進んでいる。まとまった段階で報告をする。



ふるさと納税関係会議

# ぎ か い の 窓

▼3月13日、一昨年から続く台湾との交流事業の一環として、台湾富田国民小学の小学生と千早小吹台小学校5年生とのオンライン交流授業が行われましたので議会として参観させていただきました。

子どもたちは「都道府県の紹介」「私のヒーロー」というテーマから一つを選び、日頃から培った英語力を駆使して発表していました。発音もとてもきれいで、幼少期から生の英語に触れる重要性を改めて認識致しました。

また、「子どもたちのヒーロー」といえばイチローや大谷翔平かな？との私たちの予想は見事に裏切られ、韓国の俳優など私たちが聞いたこともない方の名前ばかり



台湾富田国民小学とのオンライン交流授業



議会映像システム

り挙がることにも新鮮な驚きを感じました。もしかしたら子どもたちの方が時代の最先端にいるのかもしれません。私たちがもうかつかしている時代と置いてきぼりにされてしまいそうです。

▼3月議会から議場に映像配信システムが導入されています。今は大半の議会で映像配信が導入されているようで、千早赤阪村議会でも導入の運びとなりました（もちろん国の補助金を活用しての導入です）。

今のところは、映像をご覧いただくには役場までご来庁いただくねばならない状態ですが、今後はインターネットを介して議場での質疑の模様をみなさんにも簡単にご覧いただけるよう動画配信サービスを導入していく予定です。

## 議会を傍聴しませんか



### 次回定例会の予定

- 6月6日(火)から6月22日(木)です。
- |       |           |       |
|-------|-----------|-------|
| 6月6日  | 本会議       | 午前10時 |
| 6月8日  | 文教建設常任委員会 | 午前10時 |
| 6月9日  | 総務民生常任委員会 | 午前10時 |
| 6月22日 | 本会議（一般質問） | 午前10時 |

上記日程は、状況により変更になる場合があります。傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168  
議会事務局は保健センター2階  
議場は3階集団指導室兼議場

## 雑感

今年3月7日が啓蟄であった。毎年のことながら春はそこまで思う。

そして今年も黄金色の田んぼに想いをほせ棚田作業に精を出す。同じことの繰り返し。農業は毎年1年生とよく言われる。周りの人が、自分の経験を惜しげもなく教えてくれる交流の場は、一息つく時間である。

外に出て体に少し負荷をかけ動くことは、自然と体力作

りになっている。周りの風景を眺め、一服のお茶と空気を体全体で感じる。

千早赤阪村でないとおじわう事の出来ない光景である。

しかし、次の世代に引き継ぐ事は容易ではない。この村がいつまでも自然豊かで、子どもたちの声が響き渡り心地よい村であってほしいと思う。

その為には、みなさんの声を議会に届け、実現に力を入れて行かなければと強く思う。

徳丸

## 広報編集委員会

- |     |      |      |      |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 井上浩一 | 副委員長 | 田村 陽 |
| 委員  | 徳丸初美 | 委員   | 平田常信 |
| 議長  | 千福清英 |      |      |